

今年度も、ICT機器の活用事例や授業で活用が期待できるアプリを皆さんに紹介したいと思います。今回は、次の三つのアプリを紹介します。

1 Microsoft Pix



写真や動画が撮影できるアプリです。使い方は簡単です。フォーカスしたい場所をタップし、シャッターボタンを押すだけで撮影できます。人物を撮影するときは、顔認識機能が自動的に作動します。また、動きがあるものを撮影するときは、自動的にバーストモードが作動し、最も良い写真を選んでくれます。撮影した写真をトリミングしたり飾り付けしたり、簡単な編集が可能です。シャッター音を無音にすることが可能で、授業で撮影する場合に最適です。他には、名刺リーダー機能やパノラマ写真合成機能があります。これだけの機能がありながら、無料で提供されています。iOS版のみの提供です。

2 元素周期表



元素周期表についてのアプリは多数ありますが、このアプリの特徴は、周期表の中の元素記号をタップすると、電子配置を確認することができることです。さらに、配列された電子が軌道上を動いているところを見ることができるので、電子の動いている様子がイメージとして捉えやすく、お勧めのアプリです。無料で提供されており、Android版のみの提供です。

3 国土マップR



国土地理院が提供する地図アプリです。地理で学習する等高線、地図記号を確認することができます。画面をスクリーンに表示して説明する際に、拡大したりスクロールしたりすることが簡単にできます。また、オーバーレイ機能があり、2種類の地図を重ねることができます。陰影起伏図や写真地図を重ねて表示すると、等高線や地図記号の理解が深まると思います。さらに、活断層図や治水地形分類図等があり、試してみると自分が住んでいる地域の様々な地理状況が分かります。このアプリも無料で提供されています。iOS版のみの提供です。